

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

日本の「光と影」の「光」 ～中学生の「声」に触発されて～

立科町教育相談員 岩上起美男

数ヶ月前、立科中学校の或るクラスの学級通信に、「最近、テレビを視ていて、外国人が、日本の優れたところを指摘したり、日本人のすごい点を紹介したりする番組が多いと感じます。日本の文化や伝統が外国の人に理解してもらえるのは、とてもうれしいことです。」という生徒の「声」が載っていました。

老生も、そのころ、薄々そう感じていました。新聞のテレビ番組欄を見ながら、何となくそんな気がしていたのです。しかし、それは、あくまでも言葉になる前段階のぼんやりとした、幽かな「感じ」で、確固とした意見や感想とはほど遠い混沌とした感覚でした。

このような漠然とした「感じ」が、この生徒の言葉によって、「そう言えば、そうだ。確かに、日本が世界に誇る優秀な技術や美しい伝統、食文化、自然観、日本人独特の精神を、外国の方が語るテレビ番組が増えている。世界の各地で活躍している日本人を紹介する番組や、外国人が日本の好きな歌を熱唱する番組も多くなっている。」というはつきりとした「考え」になり、自分の意見や感想として自覚することができました。

実際に、このようなテレビ番組が増加しているのか、統計上の推移は分かりませんが、いずれにしても、頭の中で、具象以前の混沌としていた「増えている

感じ」が、中学生の「声」によって、言葉という形になったのです。

老生は、常々、「そう言えば、そうだ。確かにそう思う。」という人を納得させる言葉を発すること、すなわち、多くの人に通ずる普遍的な真理や本質に気づき、それを言葉で正確に表現し、人に伝えることは、非常に難しい言語活動と思いつらされています。そのため、中学生のこの「声」に出会い、気づきと言語化という難しい表現活動を中学生がさりげなく(う)こなしていることに、甚く感心致しました。心底、青年前期にある中学生の気づく力と、気づいたことを率直に言葉で表現する力を羨ましく思い、新鮮な刺激を分け与えてもらったのです。

立中生の「声」に大いに触発され、「外国人が、日本の優れたところを指摘したり、日本人のすごい点を紹介したりするテレビ番組が目立つ理由や背景」について考えさせられました。

おそらく、このようなテレビ番組は、「日本も日本人も、昨今、どこか疲れ、元気がないので、普段、当然のことと見過ごしがちな日本(日本人)の素晴らしさや美しさを見つめ直し、誇りと自信と元気を取り戻してほしい。」という願いに基づいて制作されているのでしょうか。(あるいは、もっと深い知慮や企図が込められているのでしょうか……)

視聴率もなかなか高いそうですので、日本人としての自信を取り戻そうという制作意図と、世界の人々から認められたという日本人の「承認欲求」が合致して、今、「世界的な見地から、日本の美点や長所を見直すテレビ番組」がちょっとしたブームになっているのではないのでしょうか

この現象に対して、世界の人々からの評価を殊の外気にする日本人の「認められたい症候群」と揶揄する向きもあります。

しかし、老生は、日本人は世界に誇り得る「直き心」(勤勉さや誠実さ、素直さ、真面目さ、謙虚さ、慎ましさ、優しさなど)を有している、と固く信じています。

日本では、被災した人々が救援物資を奪い合うような光景は見られず、きちんと並んで、じっと順番を待つ姿勢がありますが、世界には、このような姿勢が普通ではない国が少なくないからです。

テレビで、世界各地の、暴徒のように救援物資に群がり、なりふり構わず食糧や生活用品を争奪するニュースを視聴しますと、その都度、日本人の「直き心」と節度のある行動に誇らしさを覚えます。

日本が科学技術大国であることにも誇